

2018年度総会&付帯行事報告

笑って、学んで、飲んで、話して……

本年も

楽しい集いとなりました



去る6月22日、2018年度北豊支部総会が「小倉飯店」におきまして、32名の出席と47通の委任状を得て行われました(会員総数111名)。

開会の後、例年どおり仁保支部長の挨拶、来賓のご紹介並びにご挨拶と続き、議長に選出の中村和宣氏(1978年・文卒)により議事が進行されました。まず各議案について事務局より説明がありましたが、本年は(も?)特別な計画もなく、それぞれ問題なく承認をいただきました。欠席の方には総会資料を同封いたします。どうぞお目通し下さい。

総会に引き続き、記念講演会として、農学部教授の竹歳一紀先生より「グローバル化と世界の食糧事情」と題してご講演いただきました。農学部は3年前の2015年に開設された新しい学部で、詳しいことを知っている人はまずいないと思われます。講演ではプロジェクターを用いて、様々な場面で活躍する学生たちの姿を通じ、農業の現状や可能性をお話しいただきました。

また、その後は「記念落語会」ということで、同じ



・総会中、議事審議の様子。

龍谷大学の校友である林家染二師匠の噺を楽しみました。「手水回し」と「代り目」の二席演じていただきましたが、上方落語特有の明るくにぎやかな雰囲気とともに、ライブならではの楽しい高座にみな大笑いの一時間でした。その後いったん休憩をとり、懇親会へと移りました。しばらくご馳走をよばれながら懇談の後、進行の村上顕氏(2001年・文卒)によるゲームで参加者も次々と壇上に立ち、それぞれ当時の思い出を披露する等、年の差を超えてお互い学生時代に戻ったような時間を過ごしました。



・熱演中の林家染二師匠。

新規会員を当会にお誘いする折、辞退の理由として「どうせお寺関係で会ういつものメンバーになるだろうから……」と言われる方がおられますが、たといつもものメンバーでも校友会には校友会の楽しさがあり、日常を超えて集える場としてさらなる発展が望まれるところです。本年も「会員名簿」を同封いたします。会員把握の参考としていただき、未加入者へお声かけいただければと存じます。

最後は、いつものように(3回目にして既に「いつも」になったか!)真田慶秀氏(1986年・文卒)の音頭による「龍谷大学逍遙の歌」の斉唱で幕を閉じ、その後、来年の再会を約し(確かにじきに会う人も多いのですが……、ここは雰囲気)三々五々と小倉の街に消えていきました。



龍谷大学を卒業して早、40年以上が過ぎた。〈光陰矢のごとし〉のことわざどおりである。

遙か昔となった大学生活を振り返ってみると、一回生のときは実家を離れての一人暮らしで、初めて経験することばかり。アルバイトと遊びに明け暮れた毎日。は今までの人生で一番楽しかった時期のような気がする。

そして二回生になる頃、友人に「せっかく龍大に入ったのだから、何か宗教系のクラブに一緒に入ろう」と誘われた。そこでまず6つある宗教局それぞれのクラブを調べてみると、『伝道部』↓当時の私には名前が重い、『宗教教育部』↓子どもが苦手、『男声合唱団』↓コーラスの良さがわからなかった、『仏像研究会』↓興味がわからない、『パイオニア』↓いい加減な私にはボーイスカウト活動は難しい、などと勝手な理由で否定し、消去の結果、どういう活動しているのかわからない『YBA』(Young Buddhist Association Ⅱ 仏教青年会)の部室を訪ねるとちょうど追い出しコンパの日で、

酒を飲まされてそのまま入部することになった。

入部して始めて知った活動内容だが、内部的には年間テーマを決めて、それについていろいろな角度から研究したり、外部的には、仏教を広めるために学者や作家の先生を招き仏教を基調にした講演会などを開催していたが、それ以上に個々の部員が自由にいろんなことに取り組

校友リレーエッセイ

## 回顧・邂逅

1978年・文学部卒

中村 和宣



んでいた。

それは学生運動や学友会活動であったり、龍谷祭の祝賀行事(マラソン、バレーボール大会、仮装行列、模擬店等々)への参加であったりしたが、何に對しても積極的に取り組む雰囲気があった。

また、部員の約半分は寺院とは関わりのない一般家庭の出身で仏教に縁の少ない人も多く、たとえば寺族でも他宗派の人

もいて、〈浄土真宗〉にかかわらず様々な考え方に触れることができた(女子部員は少なかったが楽しかった)。

卒業後、残念ながら学部と同窓会が開かれることはないが、クラブのOB会が不定期ながら開かれている。

そこに参加すると、今でも先輩や同級生からは親しみを込めて「カズ」と名前と呼ばれ、後輩からは旧姓で呼ばれている。そしてそこは、時を超えて学生時代に呼び戻してくれる場所である。

改めて振り返ってみると、(皆そうだと思うが)クラブ活動は大学生活のなかで大きなウエイトをしめるものであり、今でもいい仲間と巡り会えたことを喜んでいる。

また、下宿の同窓会もたびたび開かれるが、その時々々に学生時代を思いだし懐かしんでいる。

合掌





龍谷大学吹奏楽部  
創部50周年記念演奏会

## 飯塚公演のご案内



昨年(2017)の総会時に、結成1周年記念コンサートというところで演奏してくれました龍谷大学吹奏楽部による標記演奏会が、このたび左記及び下記により行われます。

皆さんにもご案内の熊本での校友会全国大会でチャリティー演奏会が行われ、それにともなつての九州公演の一環となりますが、昨年のピックアップメンバーによる結成1周年記念コンサートと違い、今回はフルメンバーによる大迫力の演奏です。九州公演のフィナーレを飾る演奏会が、県内での開催となります。ご縁がありましたらどうぞ会場まで足を運んでいただき、そのサウンドをご堪能下さい。

### 訂記

【日時】9月8日(土)

18時30分(開場17時30分)

【会場】飯塚市民会館

イイヅカコスモスコモン

【入場料】前売り(全席自由)

一般 1,000円

学生 500円

\*当日券はプラス500円

【チケット申込み】

◆チケットぴあ

TEL. 0570-02-9999(PJ-F121-079)

<http://md.pia.jp/pia/>

◆店頭販売

○サークルK・サンクス

○セブンイレブン

○ファミリーマート



### 龍谷大学校友会女子会『龍Ron小町』 第4回総会開催について参加者募集のお知らせ

下記により標記総会が開催されますが、北豊支部代表として参加いただける女性会員を募集いたします。

別に役員でなくても結構です。各支部につき1名、校友会から旅費の支給もありますし、「ちょっと参加してみようかな」と思われる方がおられましたら、どうぞお申し出下さい(詳細お問い合わせ等ある場合もご遠慮なくご連絡下さい)。本部事務局からの正規のご案内をお届けいたします。

秋の京都への小旅行、いかがでしょうか?



### 記

1. 開催日時; 11月10日(土)、11~15時(予定)
2. 会場; 龍谷大学大宮キャンパス  
『清和館』3Fホール
3. プログラム; ◇総会行事  
◇昼食会を兼ねてのグループトーク  
◇各支部活動報告  
◇龍谷ミュージアム見学
4. 申し込み、問い合わせ; 9月20日までに事務局・大江までご一報下さい。携帯電話(090-7448-0075)へショートメールでもいただければ、事務局よりご連絡申し上げます。

### プログラム

I部▽2018年度全日本吹奏楽コンク

ル課題曲・自由曲

▽ハイレクイン/Pスパーク作曲

\*ゲスト 外圍 祥一郎

(ユーフォニアム演奏)

II部▽ディスコ・キッド

▽JazzコラクションVol.2

(ドラえもん組曲)

▽ボレロ・イン・ポップス その他





# 龍谷写真館 in 北星



◇右、竹歳先生の講義。楽しいばかりでなく、アカデミックな一面も…。◇下、いつもの記念撮影です。今回も立派に撮れました。◇左、夫婦で参加の小松ご夫妻。デュエットではありません。馴れ初めでも話しているのでしょうか。



◇左、数少ない、お寺の関係者ではない校友の岩永氏。会報2号のリレーエッセイの執筆者です。



◇下、『龍谷大学逍遙の歌』の音頭をとる真田氏。3回目にして〈いつも〉の光景か!?



◇上、フクちゃん和ヨリちゃん。何だかよくわからないけど、楽しそうです。



◇左、着物をとった染二師匠。懇親会から二次会までお付き合ひ下さり、有難うございました。



## 事務局雑感

▼酷暑、炎暑の言葉でも追いつかない今年の暑さです。ある新聞には「炎熱地獄」とありました。皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。また7月6、7日の西日本豪雨で被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。▼今年は何とか8月中に発行できました。発行時にそんなに「だわる」ことはないのですが、今回は吹奏楽部飯塚公演のご案内や『龍R on 小町』全国総会の参加者募集のこともあり、頑張ったこのような次第となりました。ぜひお一人でも多くの方のご参加をお持ちしています(と言って小生は行けません!? 悪しからず)。▼総会も同様ですが、いろんな行事に参加できたりできなかったりはまったく「縁」のことです。この一言ですべて片づくためつい便利使いしてしましますが、このようにしか言い様がないのも本当です。そしてこの言葉は、すべてのものは人間の思いを超えて存在するということを表します。私たちは私の意思で生きていると考えがちですが、実は恵まれるのであることが知れたとき、そこに初めて感謝が生まれます。今、成り行きでこのように校友会活動に関わって、仕事が増えて忙しい忙しいというのではなく、新たなご縁をいただき有難いことです、と言えたらカッコイイのですが…。▼まだまだ暑い日が続きます。ご自愛下さい。〔記・〇〕